※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　現代の国語」　（株式会社第一学習社）						
副教材等	「正しく読み・解くための力をつける現代の国語」数研出版株式会社 「新版　意味から学ぶ頻出漢字　3000」株式会社第一学習社 「トータルサポート新国語便覧」株式会社大修館書店						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まず自主的に学習しようとしましょう。その上で
１、教材に興味を持つ。
２、作品構造を理解する。
３、作品全体の主題を理解する。
４、今回の学習を今後に生かす。
などに気を付けて文章を読み進めていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)知識及び技能
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)思考力、判断力、表現力等
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)学びに向かう力、人間性等
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論1 ［教材］「本当の自分」幻想（平野啓一郎）	a：主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 b[書]：自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c：積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	定期考査 ノートの整理	発問評価 定期考査 作文の構成	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 作文の提出
	評論2 ［教材］水の東西（山崎正和）	a：文章の効果的な接続の仕方を理解する。 b[読]：東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 [話／聞]水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、発表する。 c：水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	定期考査 ノートの整理	発問評価 定期考査 発表の内容	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 発表の意欲と的確さ
	評論2 ［教材］ものとことば（鈴木孝夫）	a：言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 b[書]：言語について述べた文章を読み、言葉について調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 c：筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	定期考査 ノートの整理	発問評価 定期考査 説明文の構成	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 説明文の提出
	話して伝える ［教材］合意形成のための話し合いを行う	b[話／聞]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 c：今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。		話し合いの内容 発表の構成	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 話し合いの意欲と的確さ
二学期	論理分析【対比】 ［教材］「間」の感覚（高階秀爾）	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]：文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 c：情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	定期考査 ノートの整理	発問評価 定期考査	振り返りシート 授業の取り組み姿勢
	評論3 ［教材］無彩の色（港千尋）	a：常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[書]：日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c：例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。	定期考査 ノートの整理	定期考査 発問評価 意見文の構成	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 意見文の提出

※令和４年度以降入学生用

	評論4 ［教材］フェアな競争（内田樹）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[書]：現代の社会や政治について述べた文章を読み、関連する問題などを調べ、整理して説明資料にまとめる。 [話／聞]調べたことをまとめ、相手に分かりやすく伝える。 c：接続の仕方に注意して内容・構成を捉え、学習課題に従ってまとめようとしている。	定期考査 ノートの整理	定期考査 発問評価 調査やまとめ、発表の内容	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 発表の意欲と的確さ
	書いて伝える ［教材］身近な製品の取扱説明書を作成する	b[書]：わかりやすい説明を実践できるようになる。 c：教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。		説明書の構成	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 説明書の提出
三学期	評論5 ［教材］不均等な時間（内山節）	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 [話／聞]本文で示された提案と関連させ、今後の社会に必要とされることを、表現の工夫を交えて発表する。 c：対比による推論を、叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	定期考査 ノートの整理	定期考査 発問評価 発表の内容	振り返りシート 授業の取り組み姿勢 発表の意欲と的確さ
	実用的な文章 ［教材］学校新聞の記事内容を検討する	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。 b[読]：与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。 c：複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。	定期考査 ワークシートの内容	定期考査 発問評価 ワークシートの内容	振り返りシート 授業の取り組み姿勢

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間